

15:00~ 開会のあいさつ

第1部

産学連携プロジェクトの活用

15:10~15:50

企業と教育機関との産学連携プロジェクトの事例を通して、両者にとってのメリットやプロジェクトによる経験がどのように活用できるかを検証します。また産学連携に関する行政支援制度なども紹介します。

事例紹介



名古屋芸術大学

名古屋芸術大学デザイン学部 非常勤講師
Design Office SWITCH
Re+design project 代表
荒木 まさかず

1974年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン科スペースデザインコースを卒業し、2000年Design Office SWITCH設立。2009年Re+design project代表。自ら非常勤講師をつとめる名古屋芸術大学デザイン学部と有名企業との産学共同プロジェクトを企画・商品化するなどの活動を行っている。

<http://www.a-officeswitch.com/>
<http://re-designproject.com/>



名古屋工業大学

名古屋工業大学大学院 准教授
有限会社タイプ・エービー 主宰
伊藤 孝紀

伊藤孝紀研究室では、家具からインテリア、建築などを一つの環境と捉えデザインの研究と実践を行っている。行政・企業・市民を巻き込んで、インスタレーションや商環境の演出などマテづくりにも従事し、社会・世界に向け活発に活動中。

<http://ti-di.info/>



株式会社 NTTドコモ 東海支社

営業部 担当部長
楯 和幸

東海地域の豊かなコミュニケーション文化の創造のため立ち上げた、Android OSを活用した産学共同プロジェクト。当地域の大学生・大学院生・専門学校生・高等専門学校生に対し、Androidアプリケーションの企画～発信までの環境を整え人材育成と地域貢献を目指します。

<http://www.tokai.nttdocomo.co.jp/ncf/>

第2部

インターンシップのメリット

15:50~17:20

これまでにない新しい形の「半年以上の長期実践型インターンシップ」をコーディネートして活躍する NPO法人 G-net の南田修司さんによる基調講演をはじめ、実施企業、経験者による事例を紹介します。クリエイティブ産業におけるインターンシップを活用した、人材育成やその有用性への理解を促します。

基調講演



NPO法人 G-net

インターン事業部
コーディネーター
南田 修司

1984年奈良県生まれ。三重大学大学院教育学研究科を卒業。2008年よりNPO法人G-net理事として事業に参画。大学時代は、地域と連携した教育プロジェクトに関わるなど学内外で活動し、当時は大学生初でマネジメントスキルであるコーチングのプロ資格を取得。現在は、長期実践型インターン事業部統括として、地域産業の活性化及び、地域の担い手となる創造的/起業家的人材の育成に取り組む。

<http://www.honki-i.net/>

事例紹介

インターンシップ経験者も参加



有限会社 大橋量器

代表取締役
大橋 博行

実家の研屋を継ぐため、勤めていた大手IT企業を辞めて地元大垣へ。経営の立場に立つことで研の限界を感じ、既存の商品の枠を超えたコラボレーション商品や新商品を企画・開発する。研づくりという伝統産業の可能性を発信し続ける経営者のひとり。

<http://www.masuza.co.jp>



株式会社 Kitamura Japan

代表取締役
北村 圭介

1979年名古屋生まれ。中京大学体育学部を卒業後、大正12年創業のメーカー「枕のキタムラ」に所属する。4代目として、下請けからの脱却を目指し、企画、開発、製造から営業、プロモーションまでを手がけ、無名の枕メーカーのブランディングを仕掛けている。

<http://www.kabu-kitamura.com/>



三州野安株式会社

総合企画室 室長
野口 安則

1978年愛知県高浜市生まれ。大学時代はプロのミュージシャンを目指しつつ、日本全国を旅する。卒業後は、瓦関連企業で修行し、全国の出張先で自社製の瓦を見るにつけ、「キュン」とするようになる。現在は三州野安の次期経営者として、社内改革や海外展開などに積極的にチャレンジしている。

<http://www.noyasu.com/>



有限会社 絞染色 久野染工場

代表取締役
久野 剛資

大学卒業後、家業の絞染色「久野染工場」4代目を継ぐ。工場内の絞り教室やギャラリーの開設など、若い技術者育成にも貢献。伝統的な和装類はもとより、アパレル関係、海外で作品展を開くなど絞りの普及に努めると共に、意欲的に新しい絞りの開発にチャレンジしている。

<http://www.shibori-zome.com/>

第3部

交流会

17:30~18:30

第1部と第2部の登壇者の方々と、来場者の方が直接お話いただける交流会を実施します。それぞれの取り組みの成果物展示とともに、資料を手にとってお話いただけます。名刺交換を行ったり、質問することができるまたない機会です。ぜひご参加ください。

リンクス・ナゴヤ・シンポジウム 参加申込書

申し込み受付期間

9月9日(金)~10月12日(水)

参加ご希望の方は下記申込事項をご記入の上、FAX、E-mailまたはハガキでお申し込みください。

下記ウェブサイトの申込専用フォームからお申し込みいただけます。

お申し込みいただいた方には後日、受付完了のご連絡をいたします。ただし定員になり次第締め切らせていただきます。

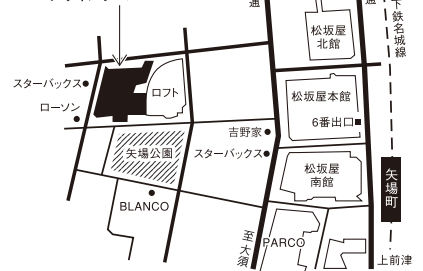
フリガナ お名前	男 女	年 齢
勤務先 学校名など		所属部署 学部・専攻 など
ご連絡先	<input type="checkbox"/> 勤務先 〒 <input type="checkbox"/> 自宅	
T E L	F A X	
E-mail		

FAX : (052) 265-2107 E-mail : links@idcn.jp
 申込専用フォーム : <http://www.idcn.jp/linksnagoya>

宛先 : 〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク・デザインセンタービル
 (株)国際デザインセンター内 LINKS NAGOYA事務局 「リンクス・ナゴヤ・シンポジウム」係



ナディアパーク・
デザインセンタービル3F
デザインホール



会場のご案内

国際デザインセンター デザインホール

〒460-0008 名古屋市中区栄3-18-1

ナディアパーク・デザインセンタービル3F

- 地下鉄名城線「矢場町」駅下車、5、6番出口より西へ徒歩5分
- 地下鉄東山線「名城線」栄」駅下車、7、8番出口より南へ徒歩7分

※ご提供いただいた個人情報は、申込受付管理にのみ使用いたします。個人の承諾がない限り第三者には開示・提供を一切いたしません。

◀ご自由にコピーをしてお使いください。